

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月30日

高槻市長 殿

提出者

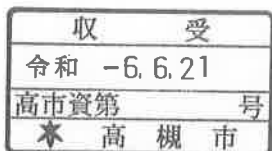
住所 大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3

氏名 日本建設株式会社 大阪支店

支店長 川崎 弘人

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6226-0631



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本建設株式会社 大阪支店
事業場の所在地	大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	完成工事高 200億
③従業員数	101人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
		排 出 量	1,040.00 t	3.15 t
①現状	(これまでに実施した取組) ・作業所への搬入時の梱包の省略化。 ・保管場所の整備、分別の徹底			
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
		排 出 量	1,019.20 t	3.09 t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の分別化を定着させることによって、再資源化率を高めることに努力する。 ・社会貢献しているという意識の社員教育継続。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別を心掛けている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
4.68 t	10.00 t	56.06 t	8.00 t

②計画

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
4.59 t	9.80 t	54.94 t	7.84 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）		
1.48 t	29.43 t	t	t

②計画

その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）		
1.45 t	28.84 t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,040.00 t	3.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・作業所への搬入時の梱包の省略化 ・保管場所の整備、分別の徹底 			

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
4.68 t	10.00 t	56.06 t	8.00 t
0.00 t	10.00 t	14.06 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）		
1.48 t	29.43 t	t	t
0.00 t	22.02 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

(第4面-4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		1,019.20 t	3.09 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別化を定着させることによって、再資源化率を高めることに努力する。 ・社会貢献しているという意識の社員教育継続。 ・極力、優良認定処理業者に委託する。 			
※事務処理欄				

②計画

木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片
4.59 t	9.80 t	54.94 t	7.84 t
0.00 t	9.80 t	13.78 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

その他がれき類	建設混合廃棄物 (管理型)		
1.45 t	28.84 t	t	t
0.00 t	21.58 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t
0.00 t	0.00 t	t	t

②計画

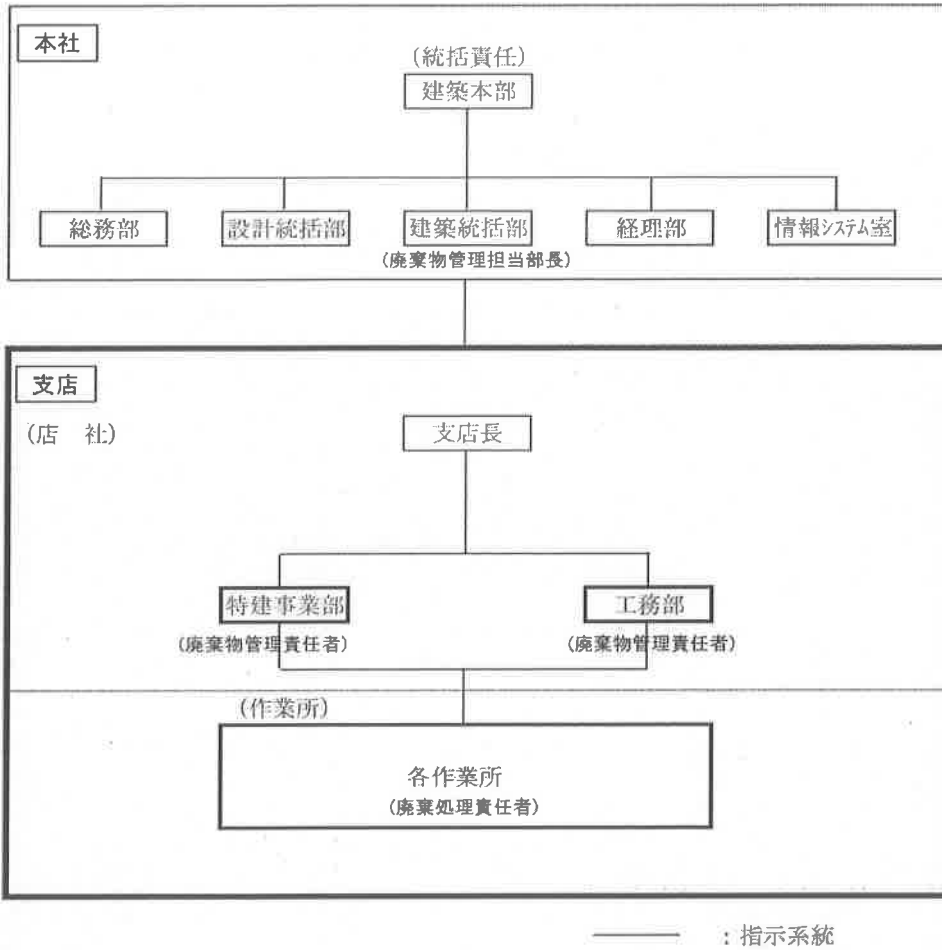
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

別添1 処理工程図

事業場内にコンテナを設置し、分別集積したのち、
中間処理業者に委託している。

別添2 管理体制図

廃棄物処理に関する管理体制



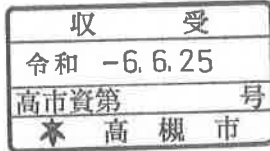
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 25日

（宛先）高槻市長



提出者

住 所 大阪府高槻市西大樋町2-1

氏 名 日本道路㈱大阪営業所
所長 上場剛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-671-7321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本道路株式会社 大阪営業所
事業場の所在地	大阪府高槻市西大樋町2-1
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	30億8,100万円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事→分別→がれき→再生処理→再生路盤

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社 安全環境品質部長

支店 安全環境品質部長

↓

大阪営業所 安全環境部長

↓

担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
	排出量	523 t	1804 t
	(これまでに実施した取組) 施工方法を検討し産業廃棄物の排出を抑制する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
	排出量	500 t	1000 t
	(今後実施する予定の取組) これまで実施した取り組みを継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき・木くず・建設混合廃棄物の分別保管をする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき・木くず・建設混合廃棄物の分別保管をする。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

がれき類	建設系混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず
94.2 t	17.81 t	2.8 t	5.5 t

②計画

がれき類	建設系混合廃棄物	廃プラスチック類	木くず
50 t	15 t	2 t	5 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

汚泥	金属くず		
0.19 t	3.39 t	t	t

②計画

汚泥	金属くず		
0.1 t	3 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	523 t	1804 t
	（これまでに実施した取組） 工事で排出された、がれき類を自社の処理場へ運び再資源化し工事で使用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスコン破片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	500 t	1000 t
	（今後実施する予定の取組） これまで実施した取り組みを継続する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

がれき類			
94.2 t	t	t	t

②計画

がれき類			
50 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃プラスチック類
	全処理委託量	17.81 t	2.8 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	17.81 t	2.8 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
(これまでに実施した取組) リサイクル率の高い処理業者を選ぶ 電子マニフェスト使用業者を選ぶ			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	汚泥	金属くず	
5.5 t	0.19 t	3.39 t	t
t	t	t	t
5.5 t	0.19 t	3.39 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		15 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量		15 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量		15 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組) これまで実施した取り組みを継続する。			
※事務処理欄				

②計画

木くず	汚泥	金属くず	
5 t	0.1 t	3 t	t
5 t	0.1 t	3 t	t
5 t	0.1 t	3 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

20	産廃物の種類 品 目	計 算 の 要 素										20								
		1. 抽出量 数量(トン)	2. 抽出量 重量(トン)	3. 抽出量 体積(立方メートル)	4. 抽出量 体積(立方メートル)	5. 抽出量 重量(トン)	6. 抽出量 体積(立方メートル)	7. 抽出量 体積(立方メートル)	8. 抽出量 重量(トン)	9. 抽出量 体積(立方メートル)	10. 抽出量 重量(トン)									
1	コンクリート破片	523	533																	
2	アスコン破片	1,004	1,004																	
3	がれき類	54	94																	
4	炭酸系混合粉砕物	16																		
5	600 座ガラスチップ類	3																		
6	600 木くず	6																		
7	200 汚泥	0																		
8	金属くず	3																		
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20	合計	2,451	2,471	0	2,471	0	2,471	0	2,471	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)トン未満は四捨五入、ただし、数字が有動であれば小数点以下第4位まで記載は可。

今年度【令和6年度】目標

コード	品目	買付金額		買付数量		買付単価		買付先	備註	買付先		買付単価	買付数量	買付単価	買付数量	買付単価	買付数量	買付単価	買付数量	買付単価	買付数量	買付単価			
		標準	実績	標準	実績	標準	実績			標準	実績												標準	実績	標準
1	コンクリート破片	500		500				500																	
2	アスコン破片	1,000		1,000				1,000																	
3	がれき類	50		50				50																	
4	雑草系混合廃棄物	15		15				15																	
5	廃プラスチック類	7		7				7																	
6	木くず	1		1				1																	
7	汚泥	6		6				6																	
8	金属くず	7		7				7																	
9																									
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
16																									
17																									
18																									
19																									
20	合計	1,515		1,560				1,550																	

(注)トランプは適宜削除して四角記入。ただし、数字が有誤であれば角点の下の斜線で記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

高槻市長 殿

提出者

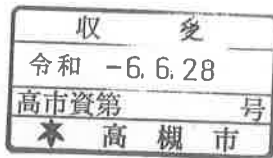
住所 大阪府中央区平野町一丁目5番7号

氏名 (株)長谷工コーポレーション 関西

関西建設部門 常務執行役員
金円富士雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6203-4985



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)長谷工コーポレーション関西
事業場の所在地	(該当管轄内事業所)
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合建設業
②事業の規模	1,075,639,000円
③従業員数	552名(社員及び派遣社員 3月31日付)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

(第2面-1)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	排 出 量	111.04 t	642.61 t
	(これまでに実施した取組) ・場内にて脱水後、排出した(汚泥) ・資材・商品の作業所搬入の際の梱包材を省力化し、排出量を削減した(廃プラ・ダンボール・建設系混合廃棄物) ・分別収集の徹底により建設系混合廃棄物の排出量を削減した(建設系混合廃棄物) ・場内で再利用できる資材は極力再利用の徹底をはかった(廃プラ) ・配管材・衛生器具・家具等の梱包をなくし発生を抑えた(廃プラ・ダンボール・建設系混合廃棄物) ・プレカット・ユニット化を促進、作業所での加工をなくすことで廃棄物の発生を抑えた(廃プラ・金属くず・建設系混合廃棄物)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
②計画	排 出 量	99.94 t	578.35 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック、ダンボール、金属くず、ガラスくず等、ガレキ・建設系混合廃棄物はそれぞれ分別・保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類
47.99 t	12,375.44 t	159.84 t	24.44 t

②計画

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類
43.19 t	11,137.90 t	143.86 t	22.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
153.53 t	324.12 t	0.50 t	t

②計画

建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
138.18 t	291.71 t	0.45 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	=	t
	(これまでに実施した取組)		
	・特になし		
		【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	111.04 t	642.61 t
	優良認定処理業者への処理委託量	99.46 t	579.15 t
	再生利用業者への処理委託量	53.29 t	642.61 t
	認定熱回収業者への処理委託量	57.75 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・新規業者採用の際、過去の処理実績・取引先を重視して審査を実施した ・リサイクル率の高い処理業者を優先的に採用した ・電子マニフェスト登録されている業者を採用した ・新規業者の採用を控え、現在取引のある業者には随時処理状況の現地確認を行った ・優良認定業者を優先的に採用した 			

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類
47.99 t	12,375.44 t	159.84 t	24.44 t
47.99 t	6,835.68 t	159.84 t	4.44 t
47.99 t	12,375.44 t	159.84 t	24.44 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
153.53 t	324.12 t	0.50 t	t
153.53 t	324.12 t	0.50 t	t
95.55 t	0.00 t	0.50 t	t
57.98 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
②計画	全処理委託量		99.94 t	578.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量		89.51 t	521.24 t
	再生利用業者への処理委託量		47.96 t	578.35 t
	認定熱回収業者への処理委託量		51.98 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
			(今後実施する予定の取組) ・特になし	
※事務処理欄				

②計画

廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類
43.19 t	11,137.90 t	143.86 t	22.00 t
43.19 t	6,152.11 t	143.86 t	4.00 t
43.19 t	11,137.90 t	143.86 t	22.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

②計画

建設混合廃棄物 (管理型)	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品	
138.18 t	291.71 t	0.45 t	t
138.18 t	291.71 t	0.45 t	t
86.00 t	0.00 t	0.45 t	t
52.18 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

別添 1 処理工程図

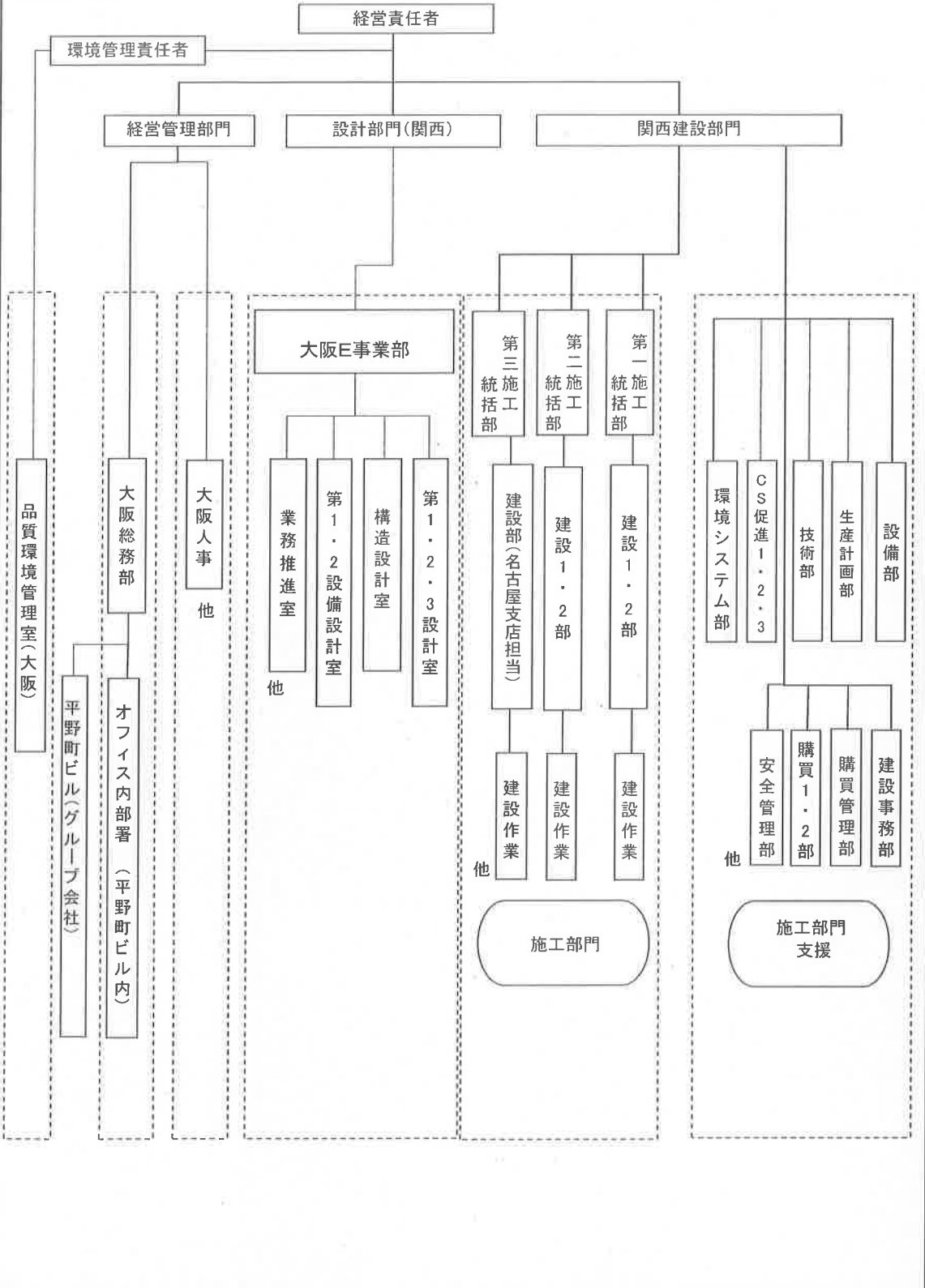
第1面

④産業廃棄物の一連の処理の工程

- ・建設汚泥→再生処理業者に委託して、脱水・固化等により再資源化
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎し、RPF化により再資源化、または焼却により熱回収
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎・焼成し、セメント原材料、再生砕石、骨材として再資源化
- ・廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、選別・破碎・減容固化し、再生燃料として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、破碎し、パーティクルボードとして再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、破碎・選別し、パルプ原料として再資源化
- ・木くず→再生処理業者に委託して、選別・破碎し、燃料用チップとして再資源化
- ・紙くず→再生処理業者に売却して、破碎・溶解し、再生紙原料として再資源化
- ・紙くず→再生処理業者に売却して、破碎し、再生燃料として再資源化
- ・金属くず→再生処理業者に売却して、破碎し、製鋼原料として再資源化
- ・繊維くず（廃置類）→中間処理業者に委託して、破碎し、埋立処分
- ・ガラス・陶磁器くず→再生処理業者に委託して、選別・破碎し、再生路盤材として再資源化
- ・ガラス・陶磁器くず→再生処理業者に委託して、破碎し、路盤材原料として再資源化
- ・その他がれき類→再生処理業者に委託して、破碎し、再生砕石として再資源化
- ・がれき類（コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、再生砕石として再資源化
- ・がれき類（アスファルト・コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、アスファルト骨材として再資源化
- ・がれき類（アスファルト・コンクリート塊）→再生処理業者に委託して、破碎し、一般販売
- ・廃石膏ボード→再生処理業者に委託して、破碎し、セメント原材料として再資源化
- ・廃石膏ボード→再生処理業者に委託して、破碎し、再生ボード原料として再資源化
- ・石綿含有（がれき類）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・石綿含有（ガラス・陶磁器くず）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・石綿含有（廃プラスチック類）→最終処分業者に委託して、埋立処分
- ・混合廃棄物（管理型）→中間処理施設において分級・縮減後、再生処理業者に委託して再資源化と最終処分業者に委託して埋立処分

別添2 管理体制図

第2面-1
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



前年度【令和5年度】実績

コード	品名	仕入										仕入総額	仕入総額	仕入総額	仕入総額	仕入総額	仕入総額	仕入総額	仕入総額			
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)											
1	600 保プラスチック類	111.04							111.04	53.79	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
2	800 木くず	642.81						642.81	642.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
3	## 炭石蓄電池	47.99						47.99	47.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
4	## コンクリート片	12,275.44						12,275.44	12,275.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
5	## アスコン片	159.84						159.84	159.84	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
6	## その他がれき類	24.44						24.44	24.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
7	2020 建築混合粉砕物(管埋)	153.53						153.53	153.53	97.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
8	2100 石綿含有産業廃棄物	324.12						324.12	324.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
9	## 水銀使用製品	0.50						0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
16																						
17																						
18																						
19																						
20																						
21																						
22																						
	合計	13,820.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13,820.51	13,209.68	115.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注)1)トナリ等は原則として四捨五入、ただし、総計が算出できずばり増減を以下調整して記載は可。

今年度【令和6年度】目標

事業年度の目標	計 画 の 進 捗										達成率	達成率の算出方法	達成率の算出方法	達成率の算出方法			
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19							
1 600 廃プラスチック類	98.04	47.05	51.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2 800 木くず	578.35	578.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3 1322 炭石音ボード	43.19	43.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 1501 コンクリート片	11,137.90	11,137.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5 1502 アス・コン片	143.66	143.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 1500 その他がれき類	22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 2000 建設用廃棄物 (管理型)	138.18	138.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8 2000 石綿含有産業廃棄物	291.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9 2500 水銀使用製品	0.45	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
合計	12,455.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(注)1)トロン測定は原則として四捨五入、ただし、数字が桁次で多ければ小数点以下3桁まで記載は可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月27日

高槻市長 殿

提出者

住所 大阪府中央区備後町1-7-10

氏名 株式会社藤木工務店 大阪本店

取締役常務執行役員大阪本店長
岡持 博久

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-4964-8701

収	受
令和	-6.6.27
高市資第	号
★	高槻市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社藤木工務店 大阪本店
事業場の所在地	大阪府中央区備後町1-7-10
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	2023年度 完成工事高 9,665,976千円
③従業員数	97名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
①現状	排 出 量	600.00 t	1.58 t
	(これまでに実施した取組) ・付着物を取り除き、確実に分別を行い再利用されやすい形で排出する。 ・金属、ダンボール、紙を再生業者へ直接引渡しを行う ・木材、コンガラ、アスコンがらの分別排出に取組み、リサイクル率90%以上を達成する		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	排 出 量	540.00 t	1.42 t
	(今後実施する予定の取組) ・排出量の多いダンボール・金属・PB・木くずをリサイクル重点管理品に定め建設副産物の発生を抑制する ・混合廃棄物排出禁止を基本に実践する(90%以上) ・分別排出を行い木くず・コンクリート・アスコンがらのリサイクル率90%以上を達成する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所にて ・木くず、コンクリート、金属くず、アスコンガラ、ダンボールを分別 ・混合廃棄物原単位 目標7.05kg/m ² に取り組む
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、コンクリート、金属くず、アスコンガラ、ダンボールを分別 ・石膏ボードの広域処理制度へ取り組む

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片
0.06 t	7.32 t	357.66 t	70.00 t

②計画

紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片
0.05 t	6.59 t	321.89 t	63.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（管理型）			
13.78 t	t	t	t

②計画

建設混合廃棄物（管理型）			
12.40 t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	600.00 t	1.58 t
	優良認定処理業者への処理委託量	600.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	600.00 t	1.58 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) 電子マニフェストを導入しており、対応可能な業者から選定するよう心がけている。		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片
0.06 t	7.32 t	357.66 t	70.00 t
0.00 t	7.15 t	0.00 t	0.00 t
0.06 t	7.32 t	357.66 t	70.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

建設混合廃棄物（管理型）			
13.78 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
13.78 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t

(第4面-4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		540.00 t	1.42 t
	優良認定処理業者への処理委託量		540.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量		540.00 t	1.42 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>出来るだけ優良認定処理業者を選定して処理委託する。 作業所での分別を進めて、再生処理業者への処理委託量を増やす。</p>			
※事務処理欄				

②計画

紙くず	木くず	コンクリート片	アス・コン片
0.05 t	6.59 t	321.89 t	63.00 t
0.00 t	6.44 t	0.00 t	0.00 t
0.05 t	6.59 t	321.89 t	63.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

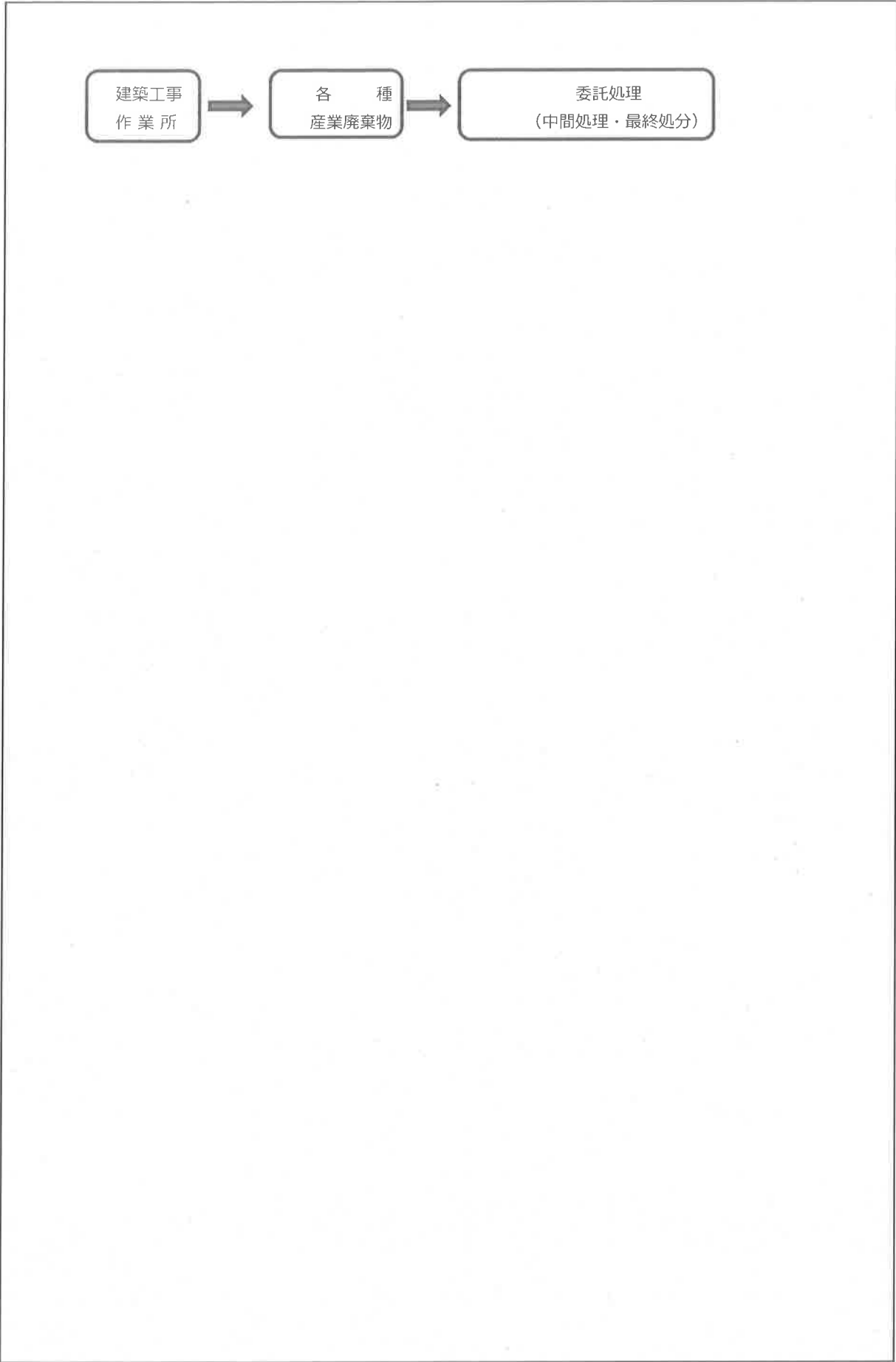
②計画

建設混合廃棄物 (管理型)			
12.40 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
12.40 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t

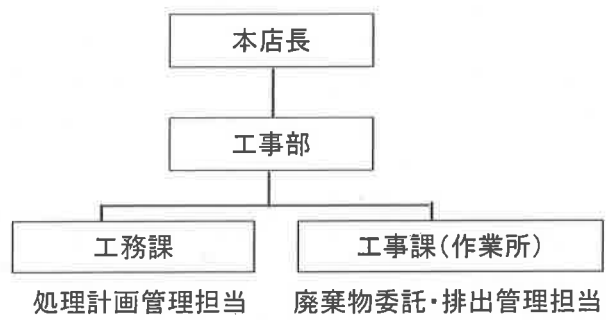
②計画

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

別添 1 処理工程図



別添2 管理体制図



今年度【令和6年度】目 標

品名	計 画 数		単 位 価		計 画 額		実 績		差 異		備 考	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
1 300 汚泥	540.00				540.00				0.00			
2 600 赤プラスチック紐	1.42				1.42				0.00			
3 300 紙くず	0.05				0.05				0.00			
4 800 木くず	5.50				5.50				0.00			
5 1500 コンクリート片	12.40				12.40				0.00			
6 1500 アス・コン片	63.00				63.00				0.00			
7 2000 建設総合廃棄物 (管理型)	12.40				12.40				0.00			
8									0.00			
9									0.00			
10									0.00			
11									0.00			
12									0.00			
13									0.00			
14									0.00			
15									0.00			
16									0.00			
17									0.00			
18									0.00			
19									0.00			
20									0.00			
21									0.00			
22									0.00			
合計	945.35	0.00	0.00	0.00	945.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	548.44	0.00

(注) トランプ未満は四捨五入、ただし、数字が零で表れに小数点以下3桁まで記載は可。

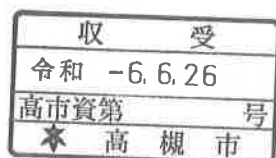
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 26日

高槻市長 殿



提出者

住 所 大阪府寝屋川市大成町1番1号

氏 名 株式会社前田組
代表取締役 前田 浩輝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-824-1111

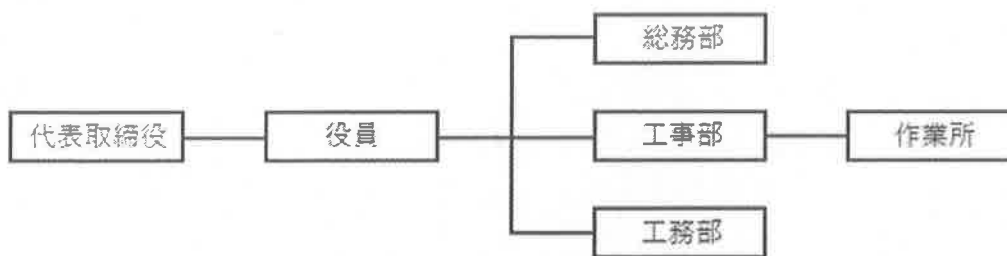
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 前田組
事業場の所在地	大阪府寝屋川市大成町1番1号
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	902,600万円
③従業員数	156人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・木くず→再生処理業者に委託して、チップ（合材用、燃料用）として再資源化 ・がれき類→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・混合廃棄物→中間処理業者に委託して、選別後再資源化又は埋立処分

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

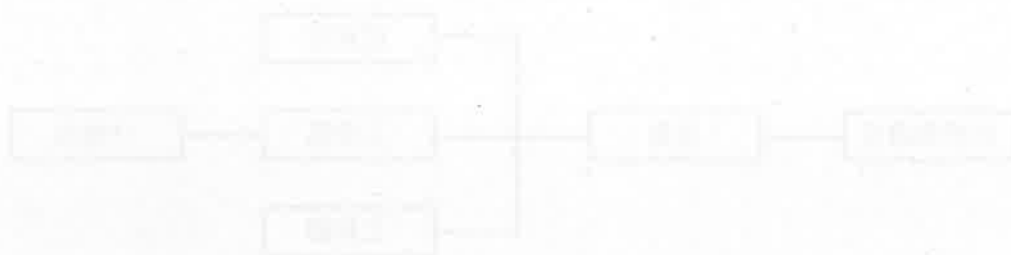


産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排出量	15 t	2 t
	(これまでに実施した取組) ・実寸発注の実施（木くず） ・余剰材の引き取り（木くず） ・梱包材の簡素化 ・ダンボール等は現場分別を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	1 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) ・実寸発注の実施（木くず） ・余剰材の引き取り（木くず） ・梱包材の簡素化 ・ダンボール等は現場分別を実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）木くずは分類するとともに、石綿含む産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）木くずは分類するとともに、石綿含む産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	廃石膏ボード
1 t	6 t	2 t	1 t

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
100 t	200 t	200 t	50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
275 t	75 t	1717 t	5 t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組) 特に無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) 特に無し			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	廃石膏ボード
- t	- t	- t	- t

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	廃石膏ボード
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	15 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	15 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストを標準化 ・委託基準を厳守できる産廃処理業者を選定し、守らない業者には指導を行っている			

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	廃石膏ボード
- t	- t	- t	- t

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	金属くず	廃石膏ボード
1 t	6 t	2 t	1 t
- t	- t	- t	- t
1 t	6 t	2 t	1 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
- t	- t	- t	- t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
275 t	75 t	1717 t	5 t
- t	- t	- t	- t
275 t	75 t	1717 t	5 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
②計画	全処理委託量		1 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	t	t
	再生利用業者への処理委託量		1 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・電子マニフェストを導入している業者に委託する ・今後も産業廃棄物を委託できる業者を選定し、委託基準に従って、書面による契約を行う。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 				
※事務処理欄				

②計画

がれき類	コンクリート破片	アスコン破片	管理型建設系混合廃棄物
100 t	200 t	200 t	50 t
- t	- t	- t	- t
100 t	200 t	200 t	50 t
- t	- t	- t	- t
- t	- t	- t	- t

前 年 度 【 令 和 5 年 度 】 実 績

品名	数量	建設費		工事費		材料費		その他		合計		備考
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
1	221	建設汚泥	11									
2	600	廃プラスチック類	2									
3	700	紙くず	1									
4	800	木くず	1									
5	###	金属くず	1									
6	###	廃石膏ボード	1									
7	###	がれき類	275									
8	###	コンクリート破片	75									
9	###	アスコン破片	1,217									
10	###	管理用建設系混 合廃棄物	5									
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
		合計										

(注) トン単位は原則として四捨五入、ただし、数字が小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和6年度】目 標

品名	事業の進捗状況										27年度 繰り越した額 （百万円）	27年度 繰り越した額 （百万円）	
	① （百万円）	② （百万円）	③ （百万円）	④ （百万円）	⑤ （百万円）	⑥ （百万円）	⑦ （百万円）	⑧ （百万円）	⑨ （百万円）	⑩ （百万円）			
1 700 紙くす	1												
2 800 木くす	10												
3 #19 がれき類	100												
4 #19 コンクリート破片	300												
5 #19 アスコン破片	200												
6 #19 管理型濾紙系濾 合廃棄物	40												
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20 合計	561										561		

(注)1) 先頭は原則として四捨五入、ただし、数字が有効である最小値以下の桁まで四捨五入可。

